



～ 夢ひとすじに ～
宮原中だより
学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

平成 29 年度 第 10 号
平成 30 年 2 月 1 日 (木) 発行
さいたま市立宮原中学校
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「ネガポな思考でいきましょう！」

こばやし ひろとし
校長 小林 広利

先日に降った大雪も毎日照り指す太陽によって少しずつ溶けてきたものの、通勤途中の家の前には雪かきで固めた雪の塊がまだまだ多く残っています。中には泥はねがついてしまった雪の塊もあり汚くすら感じることもあります。少し見方を変えてみると、歩道を雪かきしてくださった結果の塊だと思えてきて有難い気持ちがわいてきます。学校では、正門や北門からの通路や昇降口前など、朝早くから多くの生徒たちや教職員がスコップで雪をかいてくれました。自分自身は汗だくになりながらも人のためにもくもくと作業をしてくれる子どもたちを見て、宮原中学校には、すばらしい生徒たちが何と多いことかと大変嬉しい気持ちになりました。



【雪かきありがとう！】

さて、現在、3年生は入学試験の真っ最中です。先日の大雪も、私立高等学校の入試が多数行われた日でしたので、大変な思いをして会場に向かった人も多かったことと思います。今まで、高等学校等の面接試験に向けた校長面接練習を行ってきましたが、3年生の皆さんは、一人ひとり緊張した面持ちで面接練習を真剣に受けてくれました。その中で「あなたの長所と短所を教えてください」という質問をしました。「長所は、誰とでもすぐに仲良くなれるところです。短所は、臨機応変に処理することが苦手な頭が固いと言われます」など、子どもたちは結構自分自身を分析できているようです。「中学校の学校教育目標を覚えていますか」との問いには、多くの子が「学び・磨き・鍛え・羽ばたけ」と返してくれました。校訓「夢ひとすじに」を加えてくれる子もいます。「その目標に対して、自分の頑張り具合を教えてください」と問うと、「受験に向けて一生懸命勉強したので「学び」が達成できました」とか「生徒会活動や行事に仲間とともに真剣に取り組む「心が磨かれた」と思います」とか「部活動は苦しかったけれど頑張り通せたので「鍛えられた」と思います」など素晴らしい面を数多く聞かせてくれました。十数年前はよちよち歩きだった子どもたちが、家庭で温かく育てられ、今や自分自身を見つめながら中学校の学校教育目標を達成できましたと言うまでに成長しています。夢ひとすじに大きく羽ばたける大人に一歩ずつ近付いているのだと嬉しい限りです。

さて、新聞に「使ってみたいネガポな言い換え」という記事が出ていました。ネガティブな言葉をポジティブに言い換えようと言うのです。同じ意味ならポジティブが楽というわけです。中学時代、動作がのんびりしていたAさんは、ある日母親から「あなたは、何をやってもとろいねー！」と言われて傷ついたのですが、友達からの「マイペースなところがAさんの魅力！」という言葉にほっとしたそうです。「集中しない」は「好奇心旺盛」、「付き合いが悪い」は「NOと言える」、「飽きっぽい」は「切り替えが早い」、「愛想が悪い」は「こびを売らない」など、確かに前向きになれる言葉を選ぶようにすれば、自信が湧いてきます。通勤途中の雪の塊も雪かきをしてくださった証とみれば感謝の心が湧いてきますし、校長面接で答えた短所「頭が固い」も「芯が強くぶれない人」と考えれば素晴らしい長所です。宮原中の皆さんは、友達と「ネガポ」な思考で接し、ご家族の皆様方は、是非「ネガポ」な思考でお子様を支えていただきながら、自信と誇りをもって進学・進級させてあげたいものだと感じています。

※ネガポ：「ネガティブからポジティブへ」という意味で使用しています。

生徒たちに印象深く読んでもらいたく、あえて短縮した言葉を題に使用しました。